

ペッカー

A180B

取扱説明書

●必ずお読みください。

はじめに

このたびは新ダイワの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。A180Bは新ダイワの永年の経験と新しい技術によって完成したものです。

本機の性能を十分発揮させるため、安全にご使用いただくため、お使いになる前には必ずこの説明書をよく読み、正しい使用方法で作業を開始してください。

目次

1. 仕様	2
2. 各部の名称	2
3. 安全に御使用いただくために	3
4. ご使用になるまえに	6
4-1. ソーチェーンの張りぐあいを調整してください	6
4-2. チェンオイルについて	7
4-3. 安全ブレーキについて	7
4-4. ソーチェーンの目立てについて	10
4-5. 電源と電圧を確認	11
4-6. ディスククラッチについて	11
5. 切断作業	13
5-1. 切断作業	13
5-2. 切断の注意	14
6. ガイドバー・ソーチェーンの取りはずし、取り付け	14
6-1. 取りはずし	15
6-2. 取り付け	15
7. 保守・点検	16
7-1. ソーチェーン	16
7-2. ガイドバー	16
7-3. カーボンブラシの点検	16
8. トラブルの診断	17

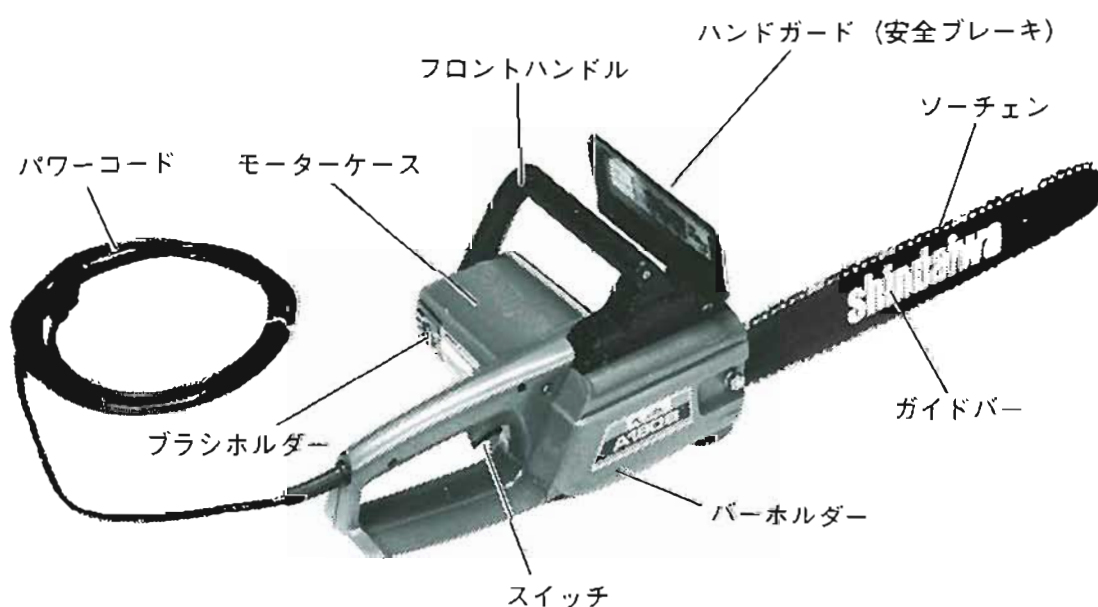
1. 仕様

モデル名	A180B
定格電圧	AC 100V
定格電流	14A
定格消費電力	1300W
無負荷チェーンスピード	8.7m/s
減速機構	ヘリカルギヤ
バーサイズ	16インチ
ソーチェン	91VXL-57E
切断長	400mm
オイルタンク容量	190・ml
外形寸法	L360×W234×H218mm
質量	4.6kg
付属品	付属工具一式
その他	安全ブレーキ、ディスククラッチ 自動給油機構内蔵、二重絶縁構造

★外形寸法及び重量には、バー、ソーチェンを含んでいません。

★仕様は予告なく変更することがあります。

2. 各部の名称



3. 安全に御使用いただくために

(この項目は電動工具一般について説明していますので、お買い求めの製品と詳細の一部が異なることがあります。)

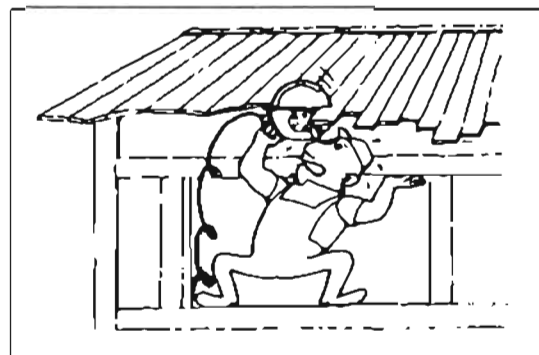
3-1. 正しい服装で作業しましょう。

ネクタイをつけたり、作業服のボタンをはずしたり、そで口をあけたままでの作業は、大変危険です。場合によっては安全メガネを使用してください。



3-2. 安定した姿勢で作業しましょう。

不安定な場所や無理な姿勢での作業は危険です。しっかりした足場の上で身体のバランスを保って作業してください。



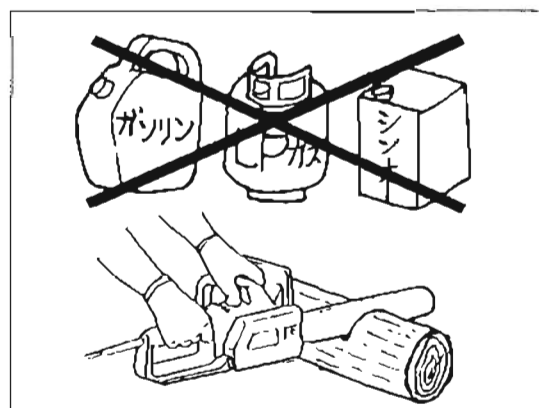
3-3. 整理整頓しましょう。

作業場はいつもきれいにしておきましょう。そして十分な照明のもとで作業してください。乱雑でうす暗い場所での作業は能率も悪く危険です。

3-4. 作業場の安全を確認しましょう。

電動工具は使用中にスパークが発生します。

ガソリン・シンナー・ベンジン・ガス・マッチ・紙・わらくずなど引火しやすいものの近くでは、使用しないでください。また、作業関係者以外は作業場に近づけないでください。



3-5. 雨中や湿気の多い場所では使用しないでください。

故障や感電の原因になり、サビも生じやすく製品の寿命が極度に短くなります。保管するときも湿気の少ない所を選んでください。



3-6. プラグを差しこむ前にまずスイッチOFFを確認。

スイッチを入れたままでプラグを差しこむと、急に電動工具が動きだし、思わぬ事故につながります。

必ずスイッチが切れているのを確かめてから、プラグを差しこんでください。

3-7. 正規の電圧でお使いください。

例えば100V機種を200Vで使用すると、モーターや刃物部が異常な速度で回転して故障や危険をまねく原因になります。

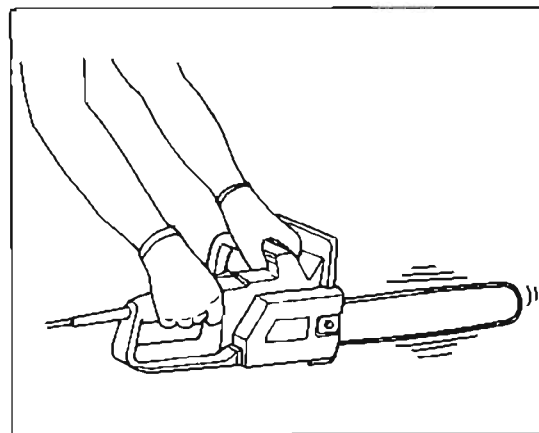
3-8. 使用しない時は電源からプラグを抜いておきましょう。

使用しない時はスイッチを切って、必ずプラグを電源から抜いてください。刃物類の交換とか修理や点検時・停電の際も同様です。

また、不用意にスイッチを入れないでください。

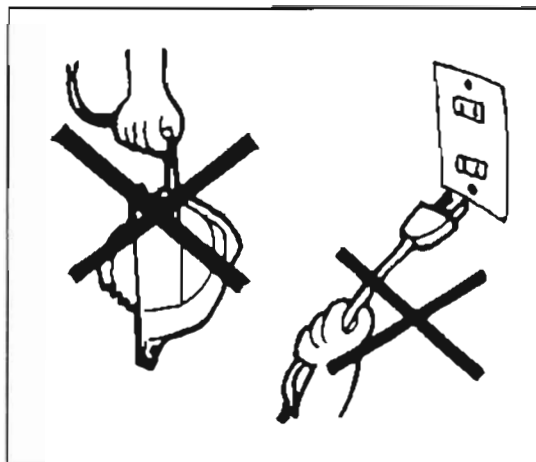
3-9. 刃物類には触れないでください。

運転中はもちろん、スイッチを切っても刃物類は少しの間、慣性で動きますので動いている間は触れないでください。



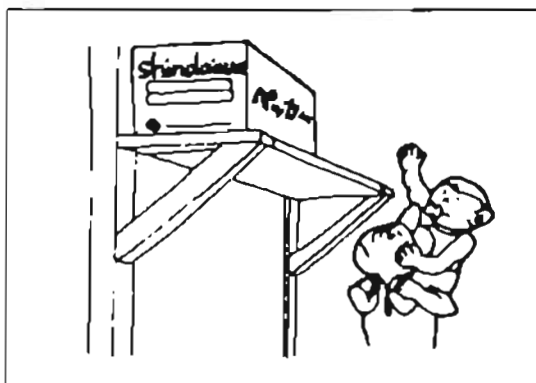
3-10. コードは大切に扱きましょう。

コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってプラグを電源から抜いたりしていると、コードをいためることになり漏電や感電をまねく原因になります。また、高熱のものや刃物類・油脂類などにコードを触れさせないように注意してください。



3-11. 適切な場所に保管してください。

使用後はお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。雨がかかったり、湿気の多い所ではサビが生じやすく、絶縁低下をまねき、感電の原因にもなります。

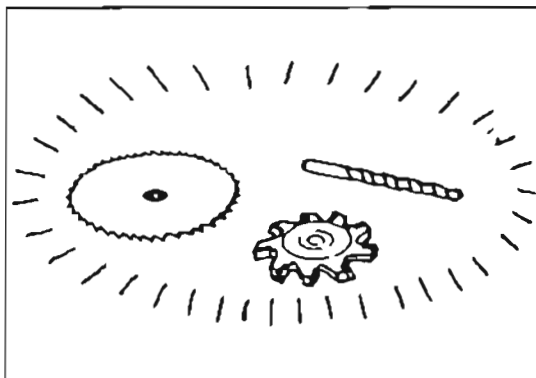


3-12. つねに点検と手入れをしておきましょう。

製品をいつも最高の状態で使用していただくためには日常の手入れが必要です。刃物類なども手入れをしておきますと、仕上がりがきれいになるだけでなく、作業能率も向上します。

3-13. 用途に合った刃物を最良の状態でお使いください。

刃物が用途に合っていなかったり、摩耗した状態で使用しますと、モーターに負担がかかり、作業能率も低下します。



3-14. 異常が発生したら使用を中止してください。

異臭や振動・異常音などが発生したときは、ただちに使用を中止して、お買い求めのお店かお近くの弊社営業所にご連絡ください。

4. ご使用になるまえに

4-1. ソーチェーンの張りぐあいを確認してください。

出荷する前に調整していますが、念のため手にとってお確かめください。チェーンが新しいあいだは伸びがちですので、時々調整が必要です。
(ある程度経過すると一定してきます。)

調整のしかた

ガイドバーの中心近くを軽く持ちあげたとき、右の写真の状態になるのが最適です。調整は次の順序で行ってください。

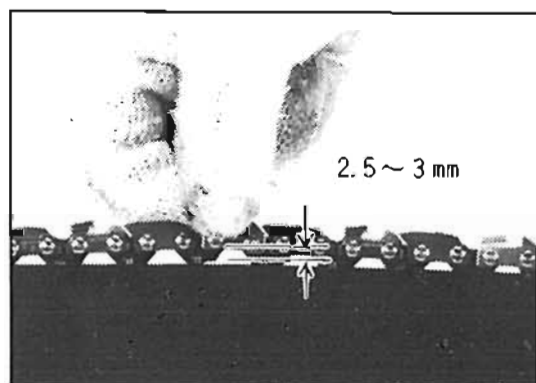


写真 1

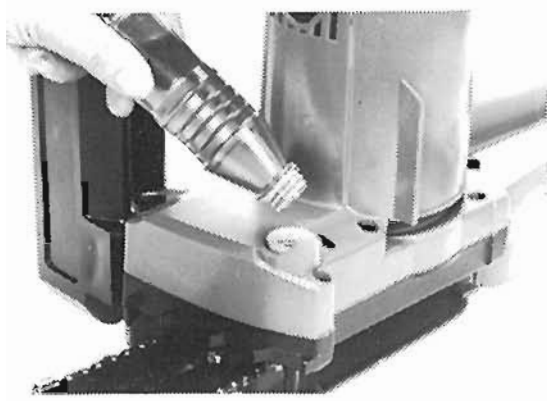
①まずコンセントからプラグを抜きます。	
②ナットを約1回転ゆるめます。	
③ドライバーでスクリュを回し(右回転)、写真1の状態になるよう調整してください。(このときガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整してください)	
④調整が終わったら、ナットをしっかりしめてください。	

4-2. チェンオイルについて

A 180B は、自動給油機構を装備していますので、チェーンが回転している間は自動的にガイドバー、ソーチェーンにチェーンオイルが給油されます。

a) チェンオイルの補充について

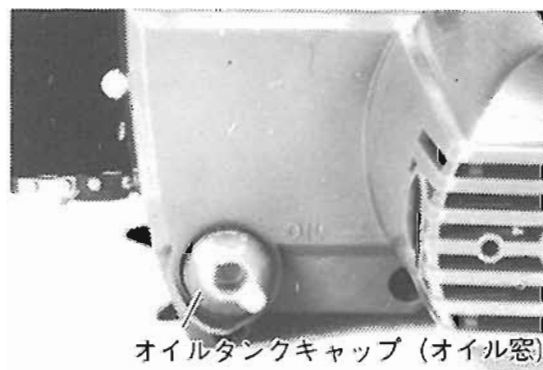
1. オイル給油口からチェーンオイルを入れてください。オイルは約 190 ml 入ります。(オイルはマシンオイル #46《旧規格 #120》をお使いください。)



オイルタンクにゴミ等が入りますと故障の原因となります。
又、廃油等は使用しないでください。

2. チェンオイルを入れたのち、本機のスイッチを入れチェーンオイルが出ていることを必ず確認してください。
3. オイルの残量はオイルタンクキャップのオイル窓にて確認してください。このとき本機を水平に置いた状態で確認してください。

注) オイルがないまま運転
しますとオイルポンプ
ガイドバー・ソーチェーン
が焼損します。必ず、
オイルを確認してスイッ
チを入れてください。



オイルタンクキャップ (オイル窓)

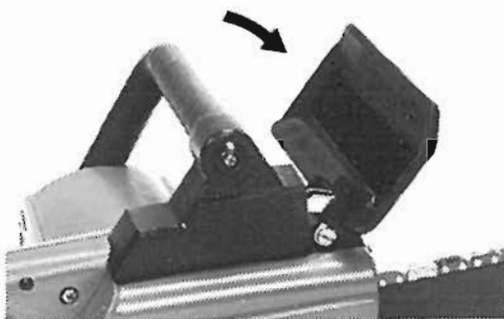
4-3. 安全ブレーキについて

安全ブレーキは万一キックバック (はね返り) が起ったとき、使用者

の手がハンドガードにあたり、その力で作動してソーチェンの回転が瞬時に停止し電源が切れ作業者の危険を少なくしてくれます。

a) 安全ブレーキの操作

1. 安全ブレーキはハンドガードが立った位置のとき、安全ブレーキは、はずれてソーチェンはフリーとなります。
2. ハンドガードが前方に傾いた位置にあるときは、安全ブレーキが作動し、ソーチェンはロックされます。
3. ブレーキの作動を解除するときは、本機のスイッチから手をはなし、モーターが完全に停止したことを確認してからハンドガードを手前に引きもどしてください。



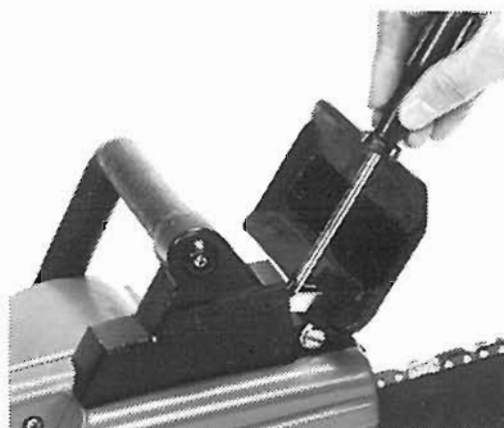
注1. ブレーキを解除するとき、必ずスイッチから手をはなしてください。スイッチを握っていると、モーターは回転しつづけていますので、ブレーキ解除と同時にソーチェンが駆動し、大変危険です。

2. 安全ブレーキはキックバックが起きた場合に作業者にかかる危害を少なくするものであり、完全に危害を防ぐものではありません。安全ブレーキを過信せず常に正しい安全な使用をされるようにして下さい。

b) 安全ブレーキの調整

写真のようにハンドガードを倒し、次の要領でアジャストスクリュを⊖ドライバで調整します。

1. ハンドガードを立てたとき、ソーチェンが手でまわらなくなるまでアジャストスクリュをしめてください。



2. この位置からアジャストスクリュを2～4回ほどゆるめ、ハンドガードを立てた状態でソーチェンが軽くまわるように調整してください。(このとき、ブレーキバンドがクラッチドラムから、いくらか離れていることを確認してください。)

注) アジャストスクリュの調整は必ずプラグを電源から抜いて行ってください。

3. アジャストスクリュの調整後、スイッチを入れてブレーキ作動のテスト、調整をしてください。

- ①アジャストスクリュを右にまわすと停止時間は早くなります。
②アジャストスクリュを左にまわすと停止時間は遅くなります。

c) 安全ブレーキの手入れ

1. 安全ブレーキ内は、いつもきれいになっているようオガクズなどは取りのぞいてください。
2. 安全ブレーキが作動していないときは、ブレーキバンドがクラッチドラムに接触していないかを点検してください。
(接触していれば正規に調整してください。)

注) 1. チェンソーはフロントハンドルを持って持運んでください。
(ハンドガードは持たないでください。)

2. 調整をしても安全ブレーキが作動しなくなったときは、お買上げの販売店か弊社営業所へご相談ください。

4-4. ソーチェンの目立てについて

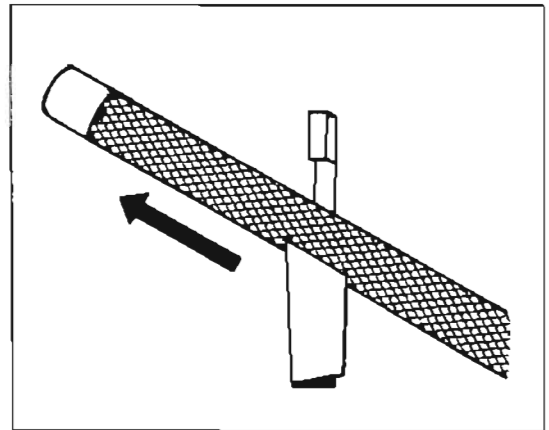
目立ての良否は切味、性能に大きく影響し、チェーンソーの故障の原因は、ほとんど目立ての不良からと云われているほどです。

下記の要領にて目立てください。

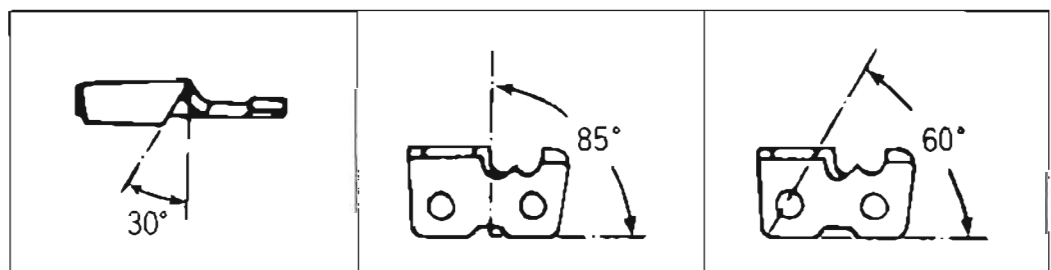
a) 目立て

付属の丸ヤスリ(4mm)で左右のカッターの角度《30°》をそろえて目立てしてください。
このときカッターの内側から外側へ向けて丸ヤスリをかけてください。

なお、左右のカッターの一方のみを先ず目立て、その後、残りの一方を目立てします。

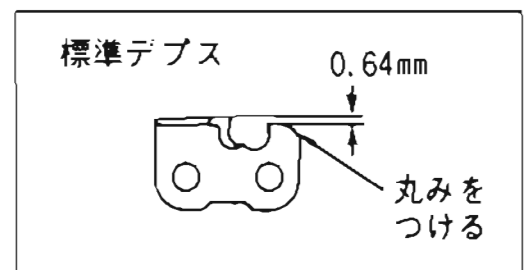
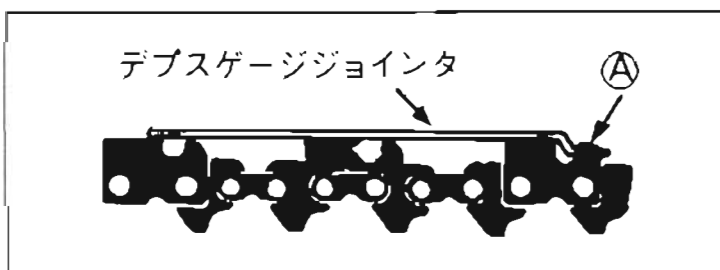


b) カッターの各角度は次のようになるようにしてください。



c) 目立てを完了したら

全部のカッターについて付属のデプスゲージジョインタを図のように当て、①の部分が上に出たときはヤスリでスリ落してください。すり落したデプスゲージは図のように丸みをつけてください。

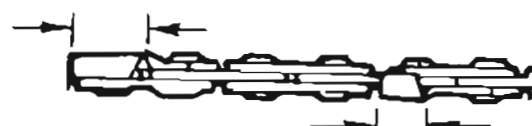


d) ソーチェン目立てのわるい例

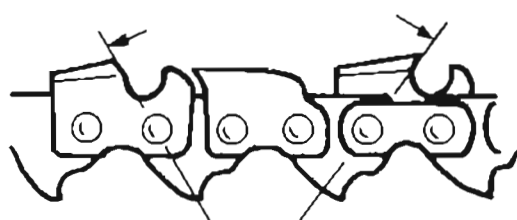
イ) すべての刃の角度がそろっていない。



ロ) すべての刃の長さがそろっていない。



ハ) すべての横刃がそろっていない。



4-5. 電源と電圧を確認

本機の使用電源は単相交流100Vです。ご使用前に確かめてください。また、コードを延長して使用する場合は必ず適切なサイズのものをお選びください。細いサイズのものは電圧降下をおこし、トラブルの原因になります。(下表を参考)

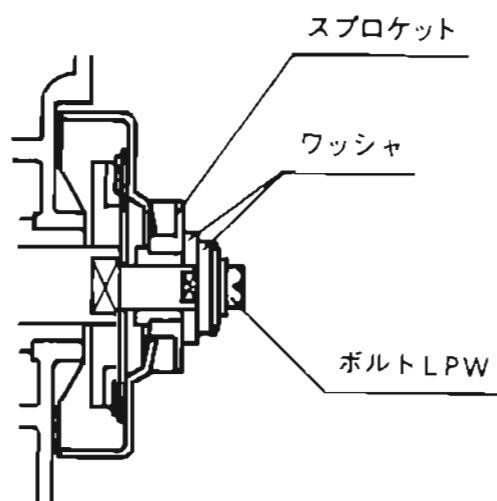
コードの太さ(公称断面積)	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²
延長コードの長さ	15m 以内	30m 以内	50m 以内

4-6. ディスククラッチについて

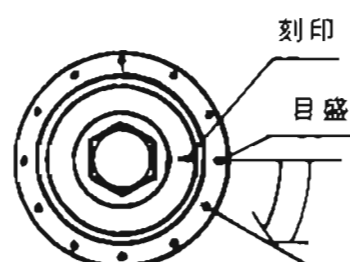
本機は過負荷使用を防止するためディスククラッチを内蔵しております。出荷時は最適な切断状態になるようセットしてありますが、長期間使用されますとディスクの摩耗により力不足を感じる場合があります。

このときは、次の手順で調整してください。

- 1) まずコンセントからプラグを抜いてください。
- 2) バーホルダーをはずしてください。
- 3) ハンドガードを前方にたおし安全ブレーキが作動した状態にします。



- 4) 右図のようにボルトLPWを右にまわして刻印をワッシャの1目盛分だけ進めてください。
- 5) ハンドガードを手前に引き戻して、安全ブレーキを解除してください。
- 6) バーホルダーを取りつけてください。



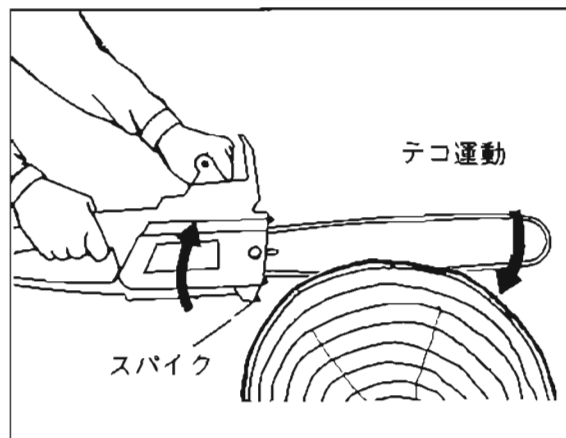
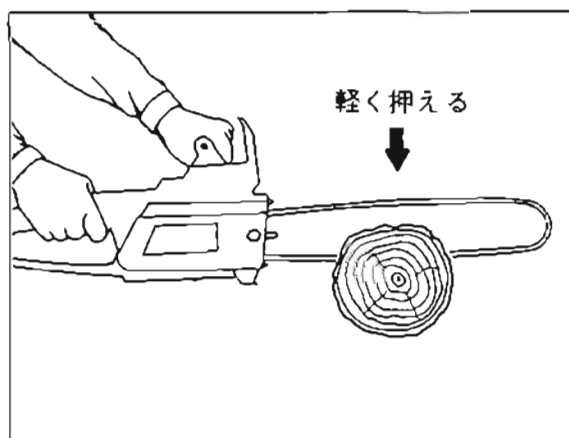
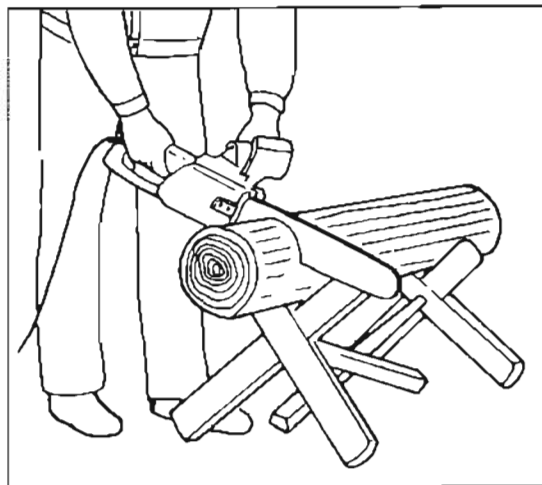
以上で調整完了ですが、まだ力不足が感じられたら再度、上記の調整を行い、さらに1目盛進めてください。

注) 調整後は必ずクラッチの動作を確認してください。クラッチが動作しない場合はボルトLPWを1目盛ずつ、ゆるめていって最適状態になるようセットしてください。
またボルトLPWを右にまわし、調整がつかないときは弊社の営業所、またはお買い上の販売店にご相談願います。

5. 切断作業

5-1. 切断作業

スムーズに切断するために木材はできるだけ安定した状態にしてください。特に小さい木材や短い木材の場合には注意してください。スイッチを入れ切断する木材にチェーンソーのスパイク部を静かに当ててください。小物切断の場合は、軽く押さえるだけですぐ切れますが少し大きい木材はスパイク部を支点にテコ運動すればラクに切れます。



大きな木材の場合、まわし切りすればガイドバーの長さの2倍まで切断できます。

本機はディスククラッチを内蔵しておりますので無理な切断をしますとソーチェーンが止まります。ソーチェーンが止まったときには押える力を弱くしてください。

5-2. 切断の注意

1. スイッチを入れてソーチェンが完全に回転した状態で木に当ててください。木に当ててスイッチを入れますと大変危険ですし、故障の原因にもなりますので絶対にしないでください。
2. 使用される近くに小さなお子さんがいらっしゃる場合などは、十分注意して作業してください。また、使用しないときはコードをコンセントから抜いておきましょう。
3. モーターの過熱について。
A180Bは小型、軽量で強力な高速モータを使用していますが極端な無理をすると、モータが過熱し焼損することがあります。モータケースの温度が、60℃くらいにあがると危険ですから時々モータケースを手で触れてみてください。触れられない程熱くなっている時は本機を少し休ませて冷却してください。もちろん、普通に使用する場合は、それほど熱くはなりません。
4. 本機を切断材にあてるとすぐにソーチェンが止まってしまう場合は、お買い上げの販売店か弊社営業所へご相談ください。

6. ガイドバー、ソーチェンの取りはずし、取り付け

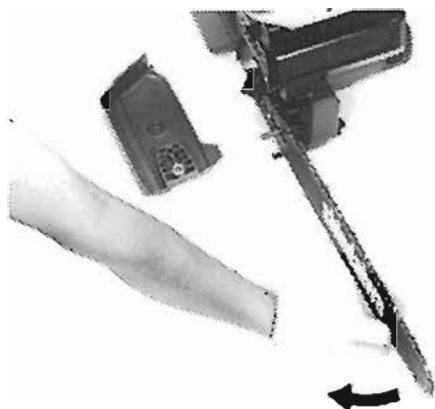
ソーチェンが目立てによって使用できなくなったとき、ガイドバーが摩耗したときはソーチェン、ガイドバーを交換してください。

取りはずし、取り付けは次の手順によって行ってください。

尚、この作業を行うときは必ずプラグをコンセントから抜いてください。又、手袋、あるいはウエスを使用して安全な作業を心がけてください。

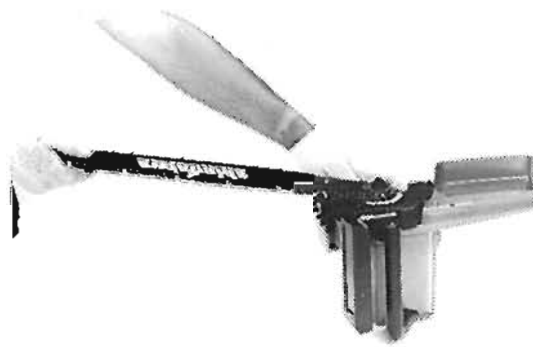
6-1. 取りはずし

1. バーホルダーのナットをスパナではずし、バーホルダーをはずしてください。
2. ガイドバー、ソーチェンを写真のように取りはずしてください。



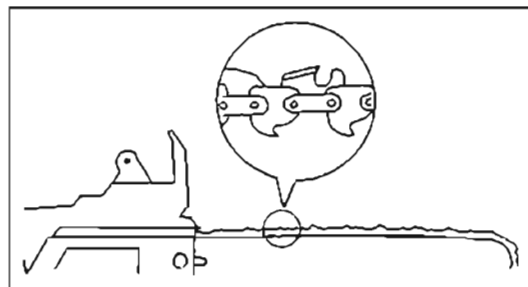
6-2. 取り付け

1. ガイドバーの先端からソーチェンを取りつけてからソーチェンをスプロケットに正しくかみ合わせるようにしてソーチェンをセットしなおしてください。

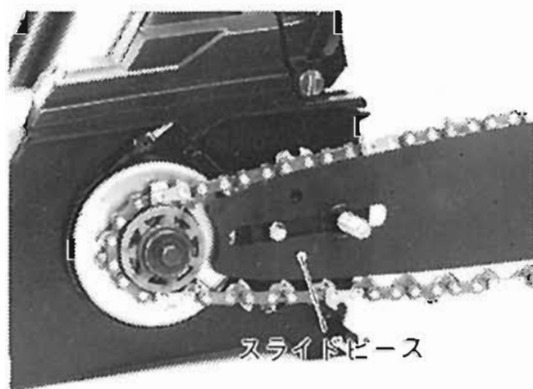


この時、ソーチェンの方向を正しく合わせてください。

(右図参照)



2. スライドピースがガイドバーの穴に入るように調整し、ガイドバーに正しくソーチェンをセットしなおして下さい。



3. バーホルダーを取りつけ、ナットを軽く締付けてください。
4. ソーチェンの張りを調整したのち、バーホルダーのナットをしっかりと締めてください。ソーチェンの張りはP 6 を参照してください。

7. 保守・点検

7-1. ソーチェン

ソーチェンの切味は、性能の良否を決める大切な部分です。

カッターが摩耗していたら目立てしてください。切れない状態での作業は、疲労を増し、切断性能を著しく低下させます。ヤニなどで汚れていたらガソリンで洗いオイルに浸して錆ないようにしてください。

7-2. ガイドバー

1. ソーチェンの回転する溝部、オイル穴部はいつもきれいにしておきましょう。
2. ガイドバーは、時々上下を替えて使用してください。寿命がのびます。

7-3. カーボンブラシの点検

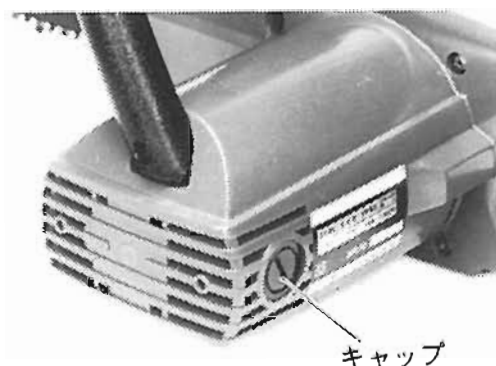
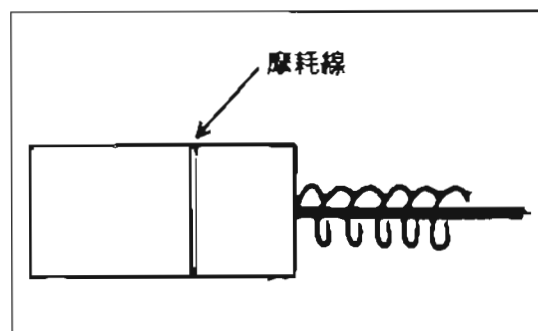
必ずプラグをコンセントから抜いて行ってください。

カーボンブラシの摩耗はモーターの性能に大きく作用します。

時々、左右のカーボンブラシを点検してください。

図のように摩耗線が見えなくなっていたり、摩耗線まで残りが少なかったりした場合、又、破損、ヒビ割れ、荒れがある場合は交換してください。

モーターケース後部のブラシホルダーのキャップを⊖ドライバで廻して外し、ブラシを引き出し点検してください。カーボンブラシを戻すときには同じ場所に同じ方向で入れてください。ブラシ交換のときは必ず2個同時に交換してください。



8. トラブルの診断

トラブルの原因と対策

ト ラ ブ ル	原 因	対 策
●スイッチを入れても回転しない	イ. 電源のヒューズ切れ ロ. コードの断線 ハ. スイッチの故障 ニ. モータの故障 ホ. 安全ブレーキが働いている	●ヒューズ交換 ●販売店で修理 ●販売店で修理 ●販売店で修理 ●ハンドガードを元に戻す
●切断時の振動が大きい	イ. ソーチェンのゆるみ ロ. ソーチェンの摩耗	●ソーチェンの張り調整 ●目立てをする
●すぐにソーチェンがゆるむ	イ. ソーチェンが新しいから ロ. ガイドバーの締つけ不足	●その都度調整 ●ナットを確実に締める
●モータの力が弱く感じる	イ. ソーチェンのオイル不足 ロ. ソーチェンの張りすぎ ハ. ソーチェンの摩耗 ニ. 木材が湿っている ホ. 延長コードが長すぎる ヘ. ガイドバーの曲がり ト. モータの故障 チ. 安全ブレーキの調整不良 リ. ディスククラッチの不良	●タンクに給油する ●ソーチェンの張り調整 ●目立てをする ●切断スピードをおとす ●適正容量のコードを使用する ●販売店で修理 ●販売店で修理 ●調整する ●販売店で修理
●大きい材を切ると曲って切れる	イ. ガイドバーの曲がり ロ. 目立ての不良	●新品のガイドバーと交換 ●目立てをする
●モータが過熱する	イ. 連続運転 ロ. ソーチェンのオイル不足 ハ. ソーチェンの摩耗 ニ. 安全ブレーキの調整不良	●一時休ませる ●タンクに給油する ●目立てをする ●調整する

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社

〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

やまびこ東北株式会社

〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

やまびこ東部株式会社

〒198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

やまびこ中部株式会社

〒452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

やまびこ西部株式会社

〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

やまびこ九州株式会社

〒816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

やまびこ産業機械株式会社

〒731-3167 広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2005 (代)

ご用命の際はご購入いただいた販売店へご連絡ください。